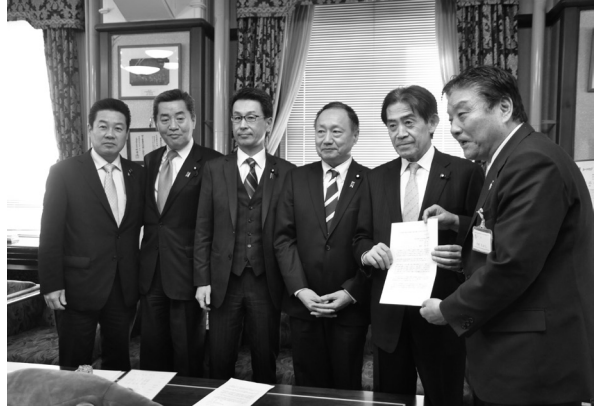


名古屋城天守復元に 「和釘」の使用を要望



河村名古屋市長(右)と議連の方々

昨年2月14日に発足された「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」には、当協会「日刀保たたら」にも深いご理解ご支援を賜っております。

同議連は、たたら技術の保存・継承には玉鋼(和鉄)の安定生産・供給が重要と考え、「和鉄」の利用・活用方法を検討し、「和鉄」で出来た「和釘」が洋鉄製の釘に比べ錆びにくいことから、全国の城、神社仏閣修復の際への「和釘」使用を働きかけています。

そのひとつとして、本年1月21日、同議連の逢沢一郎幹事長ら5名は、名古屋城木造天守閣建築への和釘使用を要望する書面を河村たかし名古屋市長に手渡し、黒滝たたら・伝統文化推進課長も同席しました。

名古屋城天守閣の木造復元は、名古屋市により二〇二二年末の完成を目指して進められており、玉鋼の関わりをより広範に展開できるよう、今後の推移が期待されます。